

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月9日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東  
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 2024年6月14日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	13,502	7.2	1,232	42.7	1,341	38.2	1,116	212.5
2023年3月期	12,600	14.0	863	143.7	970	113.8	357	△12.1

(注) 包括利益 2024年3月期 1,133百万円(203.3%) 2023年3月期 373百万円(△4.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	182.27	—	20.2	3.6	9.1
2023年3月期	58.32	—	7.2	2.8	6.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	35,834	6,005	16.8	980.53
2023年3月期	35,147	5,073	14.4	828.37

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,003百万円 2023年3月期 5,072百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,660	204	△490	10,319
2023年3月期	728	△515	△207	8,941

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00	202	56.6	4.1
2024年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00	202	18.1	3.6
2025年3月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00		25.3	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,600	3.3	500	4.7	540	3.0	300	1.8	48.99
通 期	13,800	2.2	1,300	5.5	1,380	2.9	800	△28.3	130.65

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	6,820,000株	2023年3月期	6,820,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	696,844株	2023年3月期	696,844株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	6,123,156株	2023年3月期	6,123,156株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2023年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され行動制限がなくなり、社会経済活動の回復傾向が鮮明になってきました。しかしながら、ウクライナ情勢や中東情勢の影響等によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、および円相場の急変動や世界的な金融引き締め政策により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

また、「2023年人口動態統計速報」によれば、2023年（1月～12月）の出生数は約75万人に対し、死亡数は約159万人と自然減が続き、「内閣府2023年版高齢社会白書（全体版）」によると、2070年にはわが国の人口は約8,700万人、75歳以上の人口比率が約25.1%と、総人口の減少及び一層の少子・高齢化が予測されております。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業では、2023年4月20日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、当社グループの事業ポートフォリオの見直しを図る一環として、2023年11月末をもちまして八王子ホテルニューグランドを閉業し、当ホテルの固定資産の売却についても完了しております。当該事業としては行動制限緩和に伴い積極的な新規獲得活動を行った結果、ご婚礼組数、ご宴会件数が増加し、さらにはローコストオペレーションを推進したことにより、売上高は前期比5.1%増の1,154百万円、営業利益は28百万円（前期は53百万円の営業損失）となりました。

式典事業では、競合環境の激化、儀式儀礼の小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を強化していくことが求められております。そのような環境の中、当社グループはご葬儀、仏壇仏具、法事法要、埋葬や相続、生活サポートなど終活全般に渡りお客様との長期間の関係作りを推進するため、集客型イベントの開催、広告による認知度向上推進、ご相談体制の強化、ご提案内容の拡大、人材教育の強化、システム関連投資を行ってまいりました。家族葬ニーズに対応した施設展開として2023年11月に町田鶴川ファミリーホール（東京都町田市）、2023年12月に平塚南口ファミリーホール（神奈川県平塚市）の2斎場を開業いたしました。また、既存斎場のご利用価値向上のため2023年5月にサカエヤ・ホール（神奈川県平塚市）、2023年12月に平塚西セレモニーホール（神奈川県平塚市）、2023年12月に南多摩総合ホール（東京都八王子市）のご安置室の新設・改装を行いました。引き続き、斎場の新規開設のほか既存斎場のリニューアルを積極的に行い、ご利用者様の利便性を高めてまいります。

その結果、ご葬儀件数が堅調に推移し、ご葬儀単価も増加したため、売上高は前期比7.5%増の9,773百万円、営業利益は前期比8.3%増の2,124百万円となりました。

介護事業では、サービス利用者の増加とサービス品質向上に努めました。施設の入居率、サービスご利用件数が回復したことにより、売上高は前期比8.7%増の2,050百万円、営業利益は71万円（前期は86百万円の営業損失）となりました。

その他の事業では、少額短期保険収入の増加等により、売上高は前期比0.3%増の523百万円、当社事業用不動産の売却に伴うコストが発生したため営業損失は19百万円（前期は22百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比7.2%増の13,502百万円、営業利益は前期比42.7%増の1,232百万円、経常利益は前期比38.2%増の1,341百万円となりました。また、八王子ホテルニューグランドの固定資産売却に伴い、固定資産売却益398百万円及び資産除去債務戻入益110百万円、合計508百万円の特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比212.5%増の1,116百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ687百万円増加し、35,834百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等による流動資産の増加1,213百万円、土地及び建物の取得による増加があった一方、建物の売却等による有形固定資産の減少100百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少139百万円、供託金の増加があった一方、投資有価証券及び繰延税金資産の減少等による投資その他の資産の減少285百万円があったことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ244百万円減少し、29,829百万円となりました。これは買掛金、未払法人税等による流動負債の増加54百万円、前払式特定取引前受金の減少等による固定負債の減少298百万円があったことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ931百万円増加し、6,005百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益1,116百万円の計上及び配当金の支払202百万円等により利益剰余金が914百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金の増加17百万円があったこと等によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ1,378百万円増加し、10,319百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,660百万円となりました。主な収入要因として、税金等調整前当期純利益1,791百万円、減価償却費552百万円、のれん償却費159百万円、固定資産除売却益344百万円があった一方、主な支出要因として、前払式特定取引前受金の減少326百万円、法人税等の支払額300百万円等があったことが主たる要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果得られた資金は204百万円となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出569百万円、供託金の預け入れによる支出508百万円があった一方、投資有価証券の償還による収入500百万円、定期預金の払戻による収入330百万円があったことが主たる要因であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は490百万円となりました。これは、短期借入金の減少額288百万円、配当金の支払額202百万円があったことが主たる要因であります。

#### (4) 今後の見通し

今後の我が国の経済見通しにつきましては、雇用環境や賃金引上げ等の所得環境が改善し、各種政策の効果から緩やかに回復に向かうことが期待される一方、世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢等の地政学リスクに加え、資源・原材料価格の上昇や為替相場での円安の継続など、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループ事業を取り巻く環境は、総人口の減少、少子高齢化、核家族化を背景に顧客の価値観とライフスタイル・ニーズが多様化される中、今後も更なる市場競争の激化が予想されます。

このような中、機動的かつ柔軟な経営判断を行い、顧客ニーズを的確に捉え、安全を確保しながら更なる顧客満足度の向上、新たな市場・顧客開拓を行い、企業価値の向上を目指してまいります。同時にコスト競争力の強化、危機管理体制の整備、コンプライアンス遵守といった取り組みを継続し、経営基盤の強化を推進してまいります。

各事業別の戦略の方向性は以下の通りであります。

##### ホテル事業

- ・ご婚礼サービス、施設の魅力づくり、効果的な広告キャンペーンの発信
- ・お客様の期待を超える施行品質の実現および安心・安全な施行へ向けての対策の徹底
- ・社会や流行に基づくニーズに応じたお客様満足度向上（独自のオリジナルアイテム、プランの創出等）
- ・ご宴会、七五三・成人式等のライフステージ催事、季節催事のご提案強化
- ・新商品企画（オリジナル商材等）のオンライン販売の強化
- ・経営黒字化の定着

##### 式典事業

- ・インターネット、デジタル技術を活用したご用命件数の増加および顧客コミュニティの構築
- ・ご葬儀ブランド別の組織、アフターフォロー体制の確立
- ・顧客管理システムの整備とイベント、ご相談体制などの顧客接点機会の充実
- ・戦略的な新規斎場の出店及び改装計画
- ・医療、介護などの周辺領域との連携によるご用命機会の拡大
- ・採用、教育制度の再整備
- ・霊園事業の既存事業へのシナジー発揮

##### 介護事業

- ・看護師、ヘルパーの確保、サービス提供体制の強化、人員供給体制基盤の構築（海外人材、新卒採用強化等）
- ・入居営業強化による稼働率向上を推進
- ・収益性の向上（事業所加算取得等による単価アップ、経費削減他）
- ・M&A、シニアビジネス事業の展開・推進

##### その他の事業（互助会事業、少額短期保険業他）

- ・展示会、フェスタなどイベントおよび催事出店を通じた顧客基盤の拡大
- ・会員メリットの拡充と会員世帯数の増加、ご利用機会の促進
- ・ハウスクリーニングなど消費者ニーズに応じた付帯事業の商品・サービス開発

次期の連結業績予想につきましては、以上を踏まえ、売上高13,800百万円（前期比2.2%増）、営業利益1,300百万円（前期比5.5%増）、経常利益1,380百万円（前期比2.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は800百万円（前期比28.2%減）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の国内他社の I F R S（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、I F R S 適用の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,503,518	10,577,996
売掛金	622,363	749,483
有価証券	261	309
商品	37,952	36,983
原材料及び貯蔵品	60,667	62,249
短期貸付金	16,416	16,351
預け金	47,915	51,564
その他	476,561	485,133
貸倒引当金	△559	△1,972
流動資産合計	10,765,097	11,978,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,670,150	18,177,255
減価償却累計額	△13,060,204	△11,679,583
建物及び構築物(純額)	6,609,946	6,497,671
機械装置及び運搬具	256,759	291,876
減価償却累計額	△215,909	△249,508
機械装置及び運搬具(純額)	40,850	42,368
工具、器具及び備品	2,370,678	2,249,993
減価償却累計額	△2,054,076	△1,960,462
工具、器具及び備品(純額)	316,602	289,531
土地	8,273,095	8,321,883
建設仮勘定	17,215	6,227
有形固定資産合計	15,257,709	15,157,681
無形固定資産		
のれん	1,004,095	844,790
その他	103,927	123,386
無形固定資産合計	1,108,022	968,177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,487,223	2,009,481
長期貸付金	142,890	130,426
出資金	5,770	5,780
供託金	1,190,965	1,698,965
敷金及び保証金	2,708,005	2,640,837
繰延税金資産	1,273,344	1,038,441
その他	240,986	245,816
貸倒引当金	△32,278	△38,823
投資その他の資産合計	8,016,907	7,730,925
固定資産合計	24,382,640	23,856,783
資産合計	35,147,738	35,834,882



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	578,247	605,174
未払金	365,738	304,468
未払法人税等	158,392	235,281
賞与引当金	199,977	218,776
訴訟損失引当金	17,808	-
その他	1,069,870	1,080,638
流動負債合計	2,390,034	2,444,338
固定負債		
退職給付に係る負債	170,245	179,406
長期末払金	107,258	107,258
前払式特定取引前受金	26,254,454	25,927,734
前受金復活損失引当金	45,017	46,382
繰延税金負債	733,597	852,709
その他	373,709	271,881
固定負債合計	27,684,283	27,385,373
負債合計	30,074,317	29,829,712
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,847,911	5,761,929
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	5,024,129	5,938,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,132	65,812
その他の包括利益累計額合計	48,132	65,812
非支配株主持分	1,157	1,209
純資産合計	5,073,420	6,005,169
負債純資産合計	35,147,738	35,834,882

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,600,147	13,502,022
売上原価	9,594,671	10,089,704
売上総利益	3,005,476	3,412,318
販売費及び一般管理費	2,141,630	2,179,579
営業利益	863,845	1,232,739
営業外収益		
受取利息	8,170	9,682
受取配当金	8,844	8,584
前受金月掛中断収入	24,787	21,473
不動産賃貸料	20,942	22,267
助成金収入	15,050	22,604
預り金取崩益	13,232	15,072
その他	53,878	50,469
営業外収益合計	144,906	150,155
営業外費用		
不動産賃貸費用	6,577	5,959
投資有価証券売却損	96	-
前受金復活損失引当金繰入額	24,500	26,780
貸倒引当金繰入額	-	5,776
その他	6,755	3,177
営業外費用合計	37,929	41,694
経常利益	970,822	1,341,200
特別利益		
固定資産売却益	-	398,246
受取保険金	-	4,143
資産除去債務戻入益	-	110,461
特別利益合計	-	512,851
特別損失		
固定資産除売却損	39,226	54,082
投資有価証券評価損	31,745	3,999
減損損失	311,781	-
訴訟損失引当金繰入額	17,808	-
特別功労金	360,000	-
和解金	-	2,191
特別損失合計	760,561	60,273
税金等調整前当期純利益	210,261	1,793,777
法人税、住民税及び事業税	241,143	332,901
法人税等調整額	△388,000	344,742
法人税等合計	△146,857	677,643
当期純利益	357,118	1,116,134
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△2	51
親会社株主に帰属する当期純利益	357,120	1,116,082

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	357,118	1,116,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,680	17,679
その他の包括利益合計	16,680	17,679
包括利益	373,799	1,133,813
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	373,801	1,133,762
非支配株主に係る包括利益	△2	51

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	4,686,731	△685,696	4,862,950
当期変動額					
剰余金の配当			△195,940		△195,940
親会社株主に帰属する当期純利益			357,120		357,120
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	161,179	—	161,179
当期末残高	100,000	761,914	4,847,911	△685,696	5,024,129

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	31,452	31,452	1,159	4,895,562
当期変動額				
剰余金の配当				△195,940
親会社株主に帰属する当期純利益				357,120
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,680	16,680	△2	16,678
当期変動額合計	16,680	16,680	△2	177,858
当期末残高	48,132	48,132	1,157	5,073,420

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	4,847,911	△685,696	5,024,129
当期変動額					
剰余金の配当			△202,064		△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益			1,116,082		1,116,082
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	914,018	—	914,018
当期末残高	100,000	761,914	5,761,929	△685,696	5,938,148

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	48,132	48,132	1,157	5,073,420
当期変動額				
剰余金の配当				△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益				1,116,082
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17,679	17,679	51	17,731
当期変動額合計	17,679	17,679	51	931,749
当期末残高	65,812	65,812	1,209	6,005,169

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	210,261	1,793,777
減価償却費	547,921	552,121
減損損失	311,781	-
のれん償却額	159,305	159,305
特別功労金	360,000	-
和解金	-	2,191
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,539	9,161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△693	7,958
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,647	18,799
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	△2,012	1,364
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	17,808	-
受取利息及び受取配当金	△17,014	△18,267
受取保険金	-	△7,065
有形固定資産除売却損益(△は益)	39,226	△344,163
投資有価証券評価損益(△は益)	31,745	3,999
助成金収入	△15,050	△22,604
売上債権の増減額(△は増加)	△48,715	△127,119
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,046	△612
仕入債務の増減額(△は減少)	132,887	26,926
未払金の増減額(△は減少)	60,146	△21,663
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	△304,812	△326,720
資産除去債務戻入益	-	△110,461
支払利息	-	201
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,718	△36,694
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△15,590	294,165
その他	△156,258	1,021
小計	1,314,357	1,855,621
利息及び配当金の受取額	12,563	14,316
保険金の受取額	-	7,065
利息の支払額	-	△201
和解金の支払額	-	△20,000
特別功労金の支払額	△360,000	-
助成金の受取額	15,050	22,604
法人税等の支払額	△298,861	△300,403
法人税等の還付額	44,993	81,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,103	1,660,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△591,503	△569,822
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	426,976
投資有価証券の取得による支出	△160,000	-
投資有価証券の償還による収入	300,000	500,000
供託金の預入による支出	△8,500	△508,000
定期預金の払戻による収入	300,000	330,012
定期預金の預入による支出	△300,000	△30,000
貸付けによる支出	△18,700	△4,807
貸付金の回収による収入	15,481	17,336
その他	△52,403	42,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515,625	204,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△195,121	△202,229
短期借入金の増減額(△は減少)	△12,000	△288,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,121	△490,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	877	3,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,233	1,378,174
現金及び現金同等物の期首残高	8,934,916	8,941,149
現金及び現金同等物の期末残高	8,941,149	10,319,323

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」、「介護事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」では、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービスを行っております。「式典事業」では、ご葬儀、ご法要、エンバーミング（ご遺体衛生保全）のサービス、ペットのご葬儀、霊園の管理及び仏壇店の運営を行っております。「介護事業」では、在宅介護サービス及び介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホームの運営を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,099,126	9,092,438	1,886,714	12,078,278	521,869	12,600,147	—	12,600,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95,123	48,379	694	144,196	36,943	181,140	△181,140	—
計	1,194,249	9,140,817	1,887,409	12,222,475	558,813	12,781,288	△181,140	12,600,147
セグメント利益又は損 失(△)	△53,076	1,961,372	△86,804	1,821,491	△22,130	1,799,361	△935,515	863,845
セグメント資産	938,966	20,765,143	1,804,771	23,508,881	1,237,144	24,746,026	10,401,711	35,147,738
その他の項目(注) 5								
減価償却費	42,023	433,229	29,447	504,700	1,932	506,632	41,288	547,921
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	76,242	549,622	1,022	626,887	710	627,598	32,602	660,200
のれんの償却額	—	128,845	29,996	158,841	463	159,305	—	159,305

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△935,515千円には、セグメント間取引消去52,435千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△987,950千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額10,401,711千円の内容は、セグメント間取引消去△14,611,830千円、各報告セグメントに配分していない全社資産25,013,542千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額41,288千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額32,602千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。



当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,154,844	9,773,090	2,050,837	12,978,772	523,250	13,502,022	—	13,502,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130,070	27,497	679	158,247	35,915	194,163	△194,163	—
計	1,284,914	9,800,588	2,051,516	13,137,020	559,165	13,696,186	△194,163	13,502,022
セグメント利益又は損 失(△)	28,064	2,124,195	71,730	2,223,989	△19,752	2,204,237	△971,498	1,232,739
セグメント資産	833,080	21,916,378	1,919,868	24,669,328	1,933,652	26,602,981	9,231,900	35,834,882
その他の項目(注) 5								
減価償却費	28,710	453,555	25,834	508,100	738	508,839	43,282	552,121
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,774	471,586	5,972	493,333	887	494,220	52,191	546,411
のれんの償却額	—	128,845	29,996	158,841	463	159,305	—	159,305

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△971,498千円には、セグメント間取引消去51,430千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,022,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額9,231,900千円の内容は、セグメント間取引消去△14,733,674千円、各報告セグメントに配分していない全社資産23,965,575千円であり、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額43,282千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額52,191千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

#### 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

#### 2 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

##### (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

#### 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
減損損失	170,745	—	141,035	311,781	—	—	311,781

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	866,465	134,580	1,001,045	3,050	—	1,004,095

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	737,620	104,583	842,203	2,586	—	844,790

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	828.37円	980.53円
1株当たり当期純利益	58.32円	182.27円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	357,120	1,116,082
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	357,120	1,116,082
普通株式の期中平均株式数(株)	6,123,156	6,123,156

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,073,420	6,005,169
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,157	1,209
(うち非支配株主持分(千円))	(1,157)	(1,209)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,072,262	6,003,960
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	6,123,156	6,123,156